



取扱説明書

ニューストップエース・ストップクイック
(乾式安全器) (乾式安全器ワンタッチ装着
圧力調整器用乾式安全器)

重要

- 取扱説明書をよく読み理解してから操作してください。
- 本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は重大な人身事故につながる危険性があります。
- 本取扱説明書は常に製品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。
- 本取扱説明書以外にご使用になる調整器、溶接器、切断器及び加熱器、火口の取扱説明書も併せてお読みください。

1. はじめに

本取扱説明書は、「ニューストップエース (乾式安全器)」「ストップクイック (乾式安全器ワンタッチ装着圧力調整器用乾式安全器)」を安全にご使用していただくための説明書です。また、ガス溶断機器の取扱いおよび保守管理においては、労働安全衛生総合研究所発行の「ガス切断・ガス溶接等の作業安全技術指針 TR-48:2017」も合わせてご参照ください。

重要

- 当製品は逆火防止以外の用途には使用しないでください。

当製品は当製品よりも下流側の経路で発生した逆火現象を当製品よりも上流側への伝播を阻止する逆火防止装置です。

当製品をご使用していただく前に必ず本取扱説明書を読み、十分に理解された上でご使用していただきますようお願い申し上げます。

本取扱説明書に従わなかった場合、重大な人身事故に結びつくことがありますのでご注意ください。

本取扱説明書では当製品を安全にご使用いただくために安全についての表示を次のように使い分けております。

- ⚠ 危険：死亡、重傷又は極めて大規模な物的損害を招く差し迫った危険があるリスク。
- ⚠ 警告：死亡、重傷又は重大な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスク。
- ⚠ 注意：軽傷又は軽微な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスク。
- 重要：使用上又は取扱いの安全性以外の注意事項、留意点等を示しています。
- 🚫 強制：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「しなければならないこと」を表記しています。
- 🚫 禁止：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「してはいけないこと」を表記しています。

重要

- 溶接または熱切断用のアセチレンガスの消費は、当該ガスの逆火、漏えい、爆発等による災害を防止するための措置を講じることが義務付けられています。(一般高圧ガス保安規則第60条13号)

重要

- アセチレン及び水素用乾式安全器は独立行政法人労働安全衛生総合研究所の技術指針「ガス溶接、切断作業用乾式安全器指針」に基づいて、(社)産業安全技術協会が行う依頼試験を受け、これに合格したもの(認定品)を使用してください。

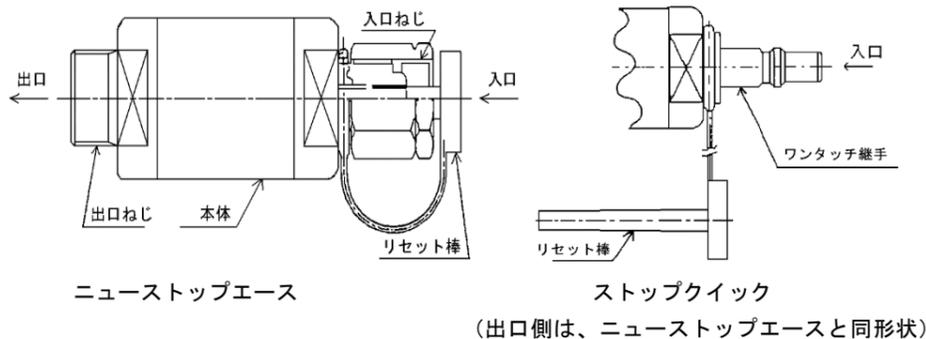
重要

- 可燃性ガス及び酸素を用いて金属の溶接、切断または加熱作業を行う場合は労働安全衛生規則に基づき、下記1～3のいずれかの資格が必要です。資格を有しない方は当製品をご使用できません。

労働安全衛生規則 第41条(就業制限についての資格)

- ガス溶接作業主任者免許を受けた者
- ガス溶接技能講習を終了した者
- その他厚生労働大臣が定める者

2. 各部の構成及び名称



3. 表示

(1) 製造業者名

ネームラベルに表示されています。

(2) 製造年月

本体に打刻されています。4桁の数字とし、上2桁は西暦末尾2桁、下2桁は月の数字を表します。

例：2019年3月製造の場合 ⇒ 1903

4. 安全にご使用していただくために

警告

- 🚫 当製品を用いて行う金属の溶接、切断及び加熱作業において、人身事故や火災等の危険を減少させるための安全予防措置として以下(1)～(8)項の事柄を遵守してください。

(1) 損傷機器の使用禁止

- 🚫 損傷していたり、ガス漏れの疑いがある機器を使用しないでください。

(2) 使用ガス

- 🚫 使用ガスが当製品に表示されたガス名と一致しているか確認してから使用してください。表示されたガスと他ガスとの混合ガス(例：水素+プロパン)でご使用の場合は弊社へご確認下さい。表示されたガス以外のガス又は弊社にて使用不可と判断された混合ガスを使用した場合、逆火阻止機能、逆流阻止機能など、本来保有している機能が正常に働かなくなることがあります。

(3) 機器への油及びグリスの禁止

- 🚫 当製品には潤滑油は不要です。油やグリスを付けないでください。油やグリスは酸素がある場合、燃えやすくなり着火や火災の危険があります。

(4) 推奨圧力

- 🚫 当製品は「5.仕様」に記載の圧力範囲で使用してください。記載の圧力範囲より低い場合はガスが流れなくなり、越えた場合は機器の故障、爆発の危険性があります。

(5) 接続部気密の確認

- 🚫 接続部から漏れがあってはけません。又、ねじ部や調整器、ホース等の連結部に大きな力を加えてはけません。

- 🚫 接続部漏れ検査にはマッチ等の裸火を使用してはけません。気密の確認には検知液(石鹼水等)を用いてください。

(6) 各機器の取り扱い

- 🚫 当製品は丁寧に取り扱いください。当製品は強い衝撃や振動を受けると誤作動したり、逆火阻止機能を損ねることがあります。

(7) 使用温度

- 🚫 使用温度範囲内で使用してください。使用温度範囲外で使用した場合、パッキン類が変形しガス漏れの危険性があります。

(8) 保護具の使用

- 🚫 周辺機器の破損等より目を保護するために眼鏡を着用してください。又、ねじ部に触れた場合、切り傷を負う恐れがあるため手袋を着用してください。

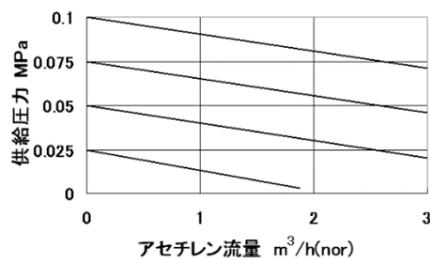
5. 仕様

警告

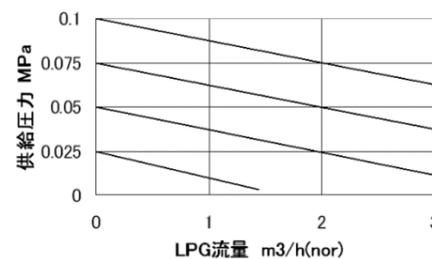
- 製品に表示されたガスに対する仕様を確認して下さい。仕様を間違えて製品を使用した場合、ガス漏れの発生あるいは機器の故障や爆発の危険性があります。

品名	ニューストップエース			
	アセチレン	LPG	水素	酸素
使用ガス	アセチレン	LPG	水素	酸素
型式	FA-210A	FA-210P	FA-220-H	FA-210-O
使用圧力	0.01～0.13MPa	0.01～0.1MPa	0.01～0.15MPa	0.01～0.99MPa
入口形状	M16×1.5(左ねじ)			M16×1.5(右ねじ)
出口形状	M16×1.5(左ねじ)			M16×1.5(右ねじ)
使用温度	-10～40℃			
(社)産業安全技術協会認定品合格番号	TIIS-YT0008	-	TIIS-YT0012	-

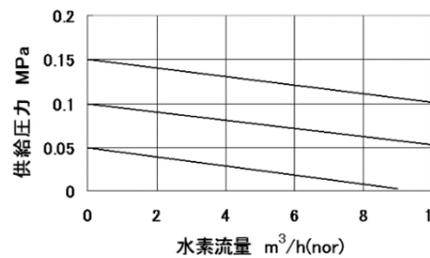
品名	ストップクイック	
	アセチレン	酸素
使用ガス	アセチレン	酸素
型式	FA-211A	FA-211B
使用圧力	0.01～0.1MPa	0.01～0.99MPa
入口形状	ワンタッチ継手	ワンタッチ継手
出口形状	M16×1.5(左ねじ)	M16×1.5(右ねじ)
使用温度	-10～40℃	
(社)産業安全技術協会認定品合格番号	-	-



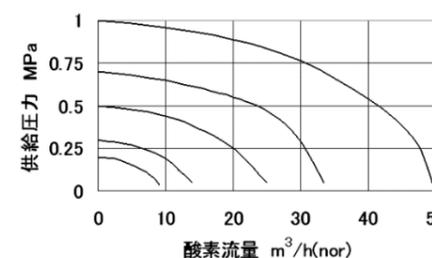
アセチレン用



LPG用



水素用



酸素用

6. 取付

(1) 使用機器との接続

警告

- 🚫 油及びグリスを使用しないでください。使用すると爆発、着火や火災の危険性があります。
- 🚫 容器が転倒防止チェーン等でしっかりと固定されていることを確認してください。
- 🚫 取り付ける前に、取付部の埃、ゴミ、水分等を除去してください。

①圧力調整器出口、又は配管取出口に当製品を接続してください。本体のネジ部に直接手を触れると負傷する恐れがあります。取付時に手袋等の保護具を着用してください。

A. ニューストップエース

当製品の入口の取付ナットはターンバックル（引締めねじ）になっています。取付ナットを本体側ねじが2～3山見える位置にしてから取り付けて下さい。

当製品に表示してあるガスの流れ方向を確認して正しく接続して下さい。

接続ねじは可燃性ガス用がM16×1.5左ねじ、酸素用はM16×1.5右ねじです。

B. ストップクイック

調整器（当社製乾式安全器ワンタッチ装着式の圧力調整器）出口側のワンタッチ継手にストップクイック入口側をしっかりと接続して下さい。

②当製品の出口にゴムホースを接続してください。

当製品に接続するゴムホースは日本工業規格 JIS K 6333（溶断用ゴムホース）相等品を使用してください。アセチレン、水素用は赤系の色、LPG用はオレンジ系、酸素用は青系の色です。

当製品の出口ねじは可燃性ガス用がM16×1.5左ねじ、酸素用はM16×1.5右ねじです。

ワンタッチ継手の場合もしっかりと接続してください。

各接続部は固定スパナで確実に締め付けてください。

(2) 接続部の漏れ確認

⚠警告

🚫 接続部からガス漏れが確認された場合、使用しないでください。接続部がガス漏れの状態のまま使用しますと、引火、逆火、火災等、重大な人身事故が起こることがあります。

- ①出口側を閉じた状態で、ガス圧力を使用する圧力まで上げてください。
- ②各接続部に検知液（石鹼水等）を塗布し、漏れが無いことを確認してください。
- ③漏れが止まらない場合は、弊社にご連絡ください。

7. 逆火時の処置

⚠警告

- 🚫 乾式安全器が高温になる場合があるため、手袋等の保護具を使用してください。
- 🚫 復元（リセット）できない場合は使用せず、当社にご連絡ください。

重要

- ・リセット作業後は、“8. 保守点検（2）①～④”の項に基づき点検を行い、異常のないことを確認してください。
- ・作業開始にあたっては十分逆火の原因を調べその措置をとってください。又、溶断器具等に異常が認められた場合には使用を中止してください。

逆火した時は遮断機構が作動し、ガスの供給がストップします。次の手順で復元（リセット）し、使用してください。又、ガスの元栓を閉じ、周囲に火気のないことを確認してください。

- ①調整器、吹管、ホース等の溶断器具に逆火後の異常がないか確認してください。
- ②当製品出口側のホースを取り外してください。（この後、容器からのガス供給を止めるため調整器の調整ハンドルを左に回し、軽くなるまで戻してください。）
- ③遮断機構をリセットします。
まず、当製品の入口側を取り外し、入口側より付属のリセット棒を挿入してください。次に、リセット棒を押し込んでください。突き当たりまで確実に押し込むことでリセットされます。
- ④製品内の水分、カーボン等を排出させるため、当製品の入口側よりガス（窒素）を0.2～0.3MPaの圧力で流してください。
- ⑤再び、取付方法の項に従い取り付け使用してください。

8. 保守点検

⚠警告

- 🚫 安全及び精度維持のために保守点検を必ず行ってください。保守点検を怠りますと正常な機能を維持できなくなり、重大な人身事故や火災が起こることがあります。
- 🚫 異常が発見された場合は、弊社で修理を行うか、もしくは新品に交換してください。

(1) 始業点検

始業時に下記箇所に検知液（石鹼水等）を塗布し漏れが無いことを確認してください。

- ①当製品の本体からの外部漏れ
- ②調整器または取り出し口及びホースとの接続部

(2) 定期自主検査

少なくとも一年に一回以上、次の手順に従い定期自主検査を行ってください。

定期自主検査に使用するガスは窒素で行ってください。

①外観検査

目視により損傷・変形・腐食等がないことを確認してください。とくにネジ部の損傷・ネジ継手部の当たり面に損傷がないことを確認してください。

②気密検査

当製品の出口側を「止メ栓」で閉じた後、入口から、0.13MPaの圧力を加え、石けん水等の塗布または水槽の中に入れるなどして、接合部などから漏洩をチェックします。

③逆流試験

当製品の出口側から0.01MPaの圧力でガスを流し、入口側に漏洩のないことをチェックしてください。

④遮断試験

当製品の出口側から付属のリセット棒でピストンを押し、カチンという音を確認後、入口側から、0.13MPaの圧力を加え、出口側に漏洩しないことを確認してください。

気密検査ならびに遮断試験はアセチレンガス用の最高使用圧力を記載しています。他のガス用の製品の検査は「5. 仕様」の使用圧力の上限値により行ってください。

(3) 再検査

3年毎に一回、弊社で再検査を受けるか、もしくは新品に交換をしてください。

重要

- ・再検査を受けずにそのまま使用した場合はメーカーとして機能保証ができません。

9. 廃棄

製品を廃棄するときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、排出業者（お客様）の責任において、必ず、産業廃棄物処理業の許可を有する事業者へ委託して産業廃棄物の処理を行ってください。

10. 製品保証

(1) 保証期間

ご購入後1年間とします。

(2) 保証範囲

- ①保証期間内に弊社納入品に弊社の責任による故障を生じた場合には、無償修理を行います。
- ②弊社納入品の不具合によって発生した二次的損害については、弊社は責任を有しないものとし、その保証については免責させていただきます。

(3) 免責事項

上記保証期間内といえども、下記のいずれかに該当する場合には保証の対象外とさせていただきます。

- ①ガスの物性により発生した故障、不具合現象の場合。
- ②天災、火災等不可抗力により生じた故障。
- ③本書に記す推奨使用圧力、使用温度を超えて使用した場合。
- ④本書の“危険”、“警告”、“注意”、“重要”に記す事項を守らなかった事による故障。
- ⑤弊社もしくは、弊社が委嘱した者以外が改造、修理した場合。
- ⑥外部より異物が混入した事により発生した故障。
- ⑦その他、弊社の責任外と判断される場合。（返却された物を分解点検し判断致します。）

11. 修理

重要

- ・下記の故障が発見された場合には、直ちに弊社で点検を受けてください。

- (1)復元（リセット）ができないもの。
- (2)ガスが流れなくなったもの。
- (3)接続部の当たり不良、変形及び傷ついたもの。
- (4)本体から外部漏れのあるもの。
- (5)定期点検で不具合があったもの。

⚠警告

🚫 機器は使用者が分解修理・改造等を行うと逆火阻止機能を損なうばかりでなく、ガス漏れにより重大な事故の発生原因となりますので絶対に行わないでください。弊社にご依頼ください。

12. 連絡先

下記弊社又はご購入先にご連絡ください。

お問い合わせ窓口

事業所	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
産業機器事業部	387-0018	長野県千曲市大字新田823	026(272)6964	026(272)2885



日酸TANAKA株式会社

<http://nissantanaka.com>

2024.5